



# Germany | ドイツ |



ドイツコーヒー協会 事務局長  
ホルガー・ブライビッシュ

## ドイツ主要情報

- 面積: 35.7万km<sup>2</sup> (日本の約94%)
- 人口: 約8,180万人 (2009年末)
- 首都: ベルリン
- 首都ベルリンの人口: 約344万人
- ※外務省HPより(2011年5月現在)

## コーヒー消費からみる、ドイツ人のライフスタイル

ドイツ最大の港を持つハンブルグ。貿易の街として古くから栄えていたこの街では、1668年、ドイツで最初にコーヒーが飲み交わされたことも知られている。その街に、1969年に創立されたのがドイツコーヒー協会だ。

このドイツコーヒー協会の調べによれば、水、ビール、コーヒーというドイツで一般的によく飲まれている3種類の飲料の中で、唯一コーヒーの消費量が、ここ4年間変わらず増加傾向にあるという。(2009年度の1人当たりの年間消費量150L、前年度148L)

### 若者たちの間で、 テイクアウトが人気上昇中。

自らも1日に6~10杯、平均的ドイツ人の約2倍量のコーヒーを飲むと胸を張る、ドイツコーヒー協会事務局長ホルガー・ブライビッシュは、消費量の増加の背景には「コーヒー」のイメージの変化があると分析する。

「以前、ドイツではコーヒーは朝と昼

に自宅で、もしくは夜、居酒屋で友人と楽しむものだった。しかし、いまやテイクアウトのコーヒーを片手に出社するのは、若い人たちの間ではステータスシンボルになっている」

このテイクアウトの文化は、10年前アメリカのコーヒーショップチェーン「スターバックス」がドイツに初上陸したことから始まった。現在は国内にさまざまな系列の、1600店舗がある。最大規模は「マックカフェ」で700店舗、世界第2位のシェアだ。コーヒーショップの人気を受けて、2008年からパン屋やガソリンスタンドでのコーヒーのテイクアウトも一般的になった。

ただし、ドイツコーヒー協会が実施した統計によると、家でコーヒーを飲むのが好きな人の割合が最も高く、全体の7割弱。コーヒーを飲む頻度についての問いに「毎朝、朝食とともに」という答えが85%で最も多いというデータからは、自宅でコーヒーを飲まない朝が始まらないという、ドイツ人

の日常が浮かび上がってくる。

「自宅で料理をしないことで有名なドイツ人ですが、一般家庭に最も置かれている家電がコーヒーマシン。中でも全自動のマシンは、全国の家庭の9%が所有しています」

平均購入価格は500ユーロ。味へのこだわりも高まっているようだ。

### ドイツの朝食によく合う、 フィルターコーヒーが人気。

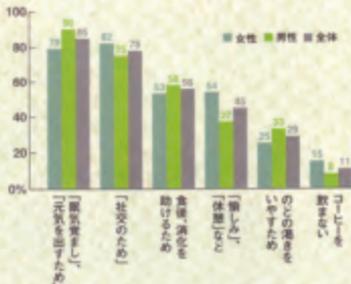
またコーヒーマシンとコーヒーショップの普及から、ラテへの嗜好の変化も見られ、エスプレッソ/カフェ・クレマ用に焙煎された豆の消費量も伸びている。現在の消費量は約4万8千tで10年前の6倍以上だ。

しかしまだ、フィルターコーヒーが好きなという人は、ミルク入りとブラックを合わせて全体の8割。素朴なパンとチーズの朝食や、ドイツ風ケーキには、やはり香り高いフィルターコーヒーがよく合うからである。

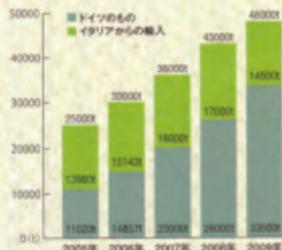
### コーヒーを飲む頻度



### コーヒーを飲む目的



### エスプレッソ/カフェ・クレマの消費量の変化





# Operncafé

オペルンカフェ

店が入る建物は、1756年建築。プロイセン王の経済大印の複製として建てられ、後には皇太子や王妃の別荘として使われた。東ドイツ時代にも営業。

www.operncafe.de



客の年齢層は50代前後。20年以上通っている常連もいる。



上：1999年に改装される前の写真。右：表面にクレマがないドイツらしいコーヒーは、WMFのマシンで淹れる。ポット4.8ユーロ。



ベートーヴェンの胸像や、19世紀の街並を描いた絵画が趣を添える。

# Café Einstein

ウィーン・カフェ・アインシュタイン

ダーフトーンの木製家具、大理石の  
テーブルなど、随所でウィーン風カ  
フェの伝統を忠実に再現。

黒と白のフォーマルな制服も、ウィー  
ンのカフェハウスの伝統的スタイルだ。

[www.cafeeinstein.com](http://www.cafeeinstein.com)



欧州各国の新聞と雑誌が並べられたラック。ウ  
ィーンのカフェハウス文化を受け継いでいる。



味わい深い曲げ木のコート掛けや、鏡を多用し  
た内装など、インテリアの見所は満載だ。



20年代に活躍したドイツの女優ヘニー・ボーテ  
ンの旧邸宅の1階をカフェ、2階をバーに改装。



最高級と名高い「La Marzocco」製の  
カフェマシンで、コーヒー豆はアラビ  
カ100%。濃い目に淹れるスタイルだ。

# Roderich

ロードリッヒ

古道具屋で購入した不揃いの家具を並べるのは、ベルリンの新しいカフェの特徴だ。

■ <http://roderich-berlin.blogspot.com>



ランプ工場だった場所を大改装。1階の店舗は250㎡、地下には同じ広さの舞台空間もある。



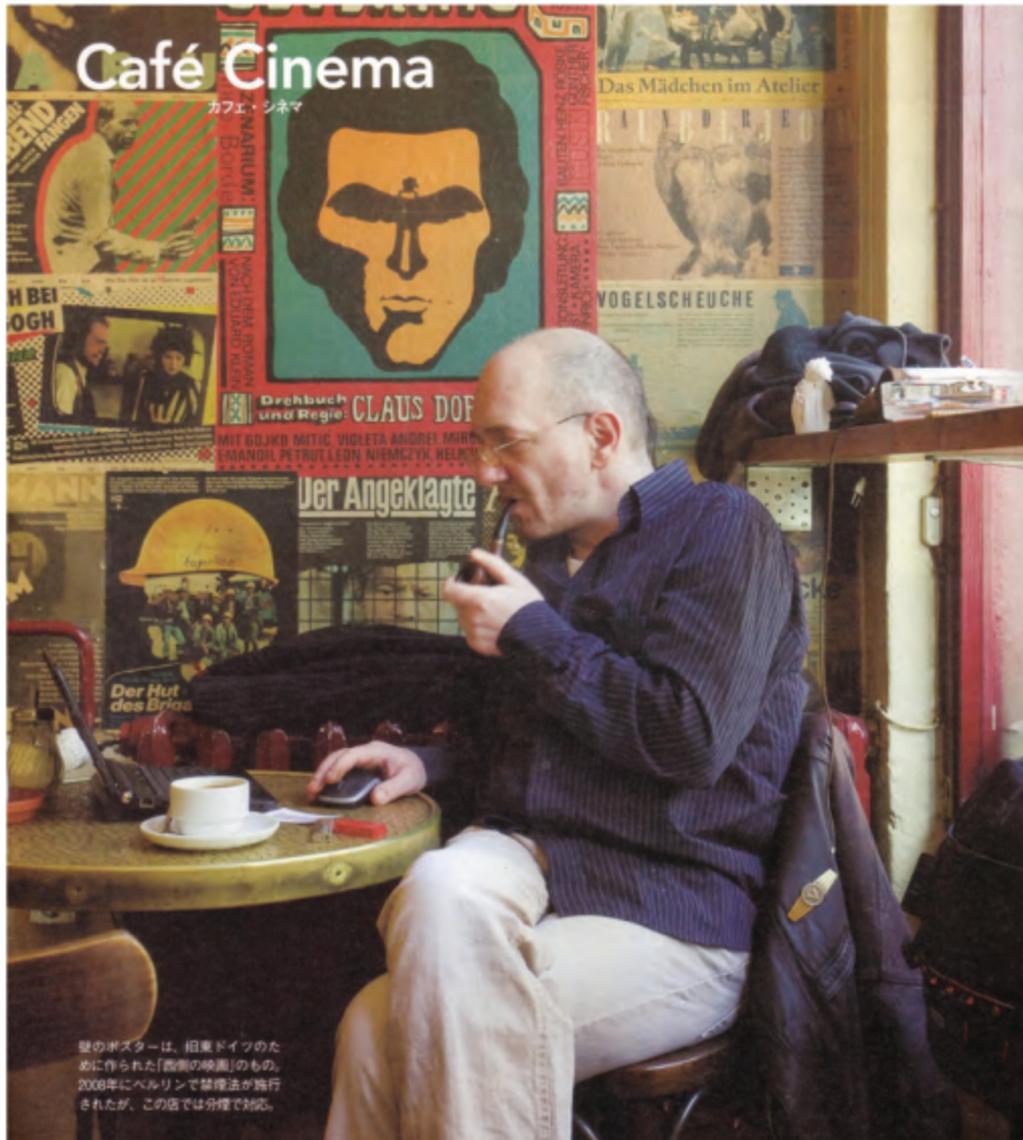
アーティストが集まるカフェらしく、店の一角に膨大なフライヤーが積まれたコーナーが。



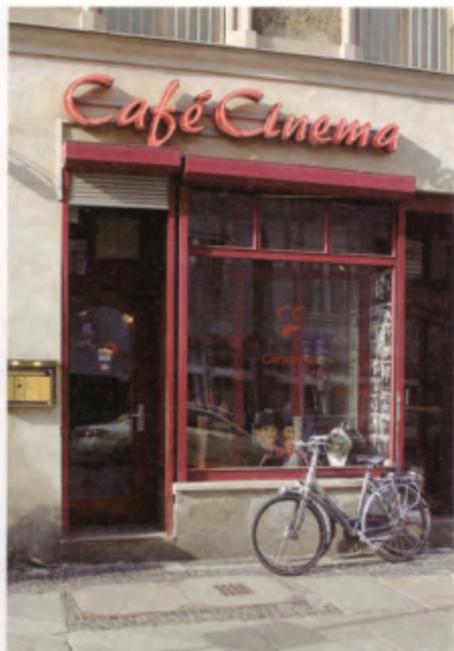
コーヒーマシンとミルは「lafaimac」製。ミルはエスプレッソ用とコーヒー用の2種類がある。

# Café Cinema

カフェ・シネマ



壁のポスターは、旧東ドイツのために作られた「西側の映画」のもの。2008年にベルリンで禁煙法が施行されたが、この店では分煙対応。



新しい店が軒を並べるミッテ地区で唯一、壁崩壊当時の面影を残す。



旧西ベルリン出身のブッフ。旧東ベルリン出身のパートナーと共同経営。



上：店を開いたのは奇しくも東西ドイツ統一が発表される、29時間前のことだった。左：コーヒー（ビスケット付き）1.7ユーロ